

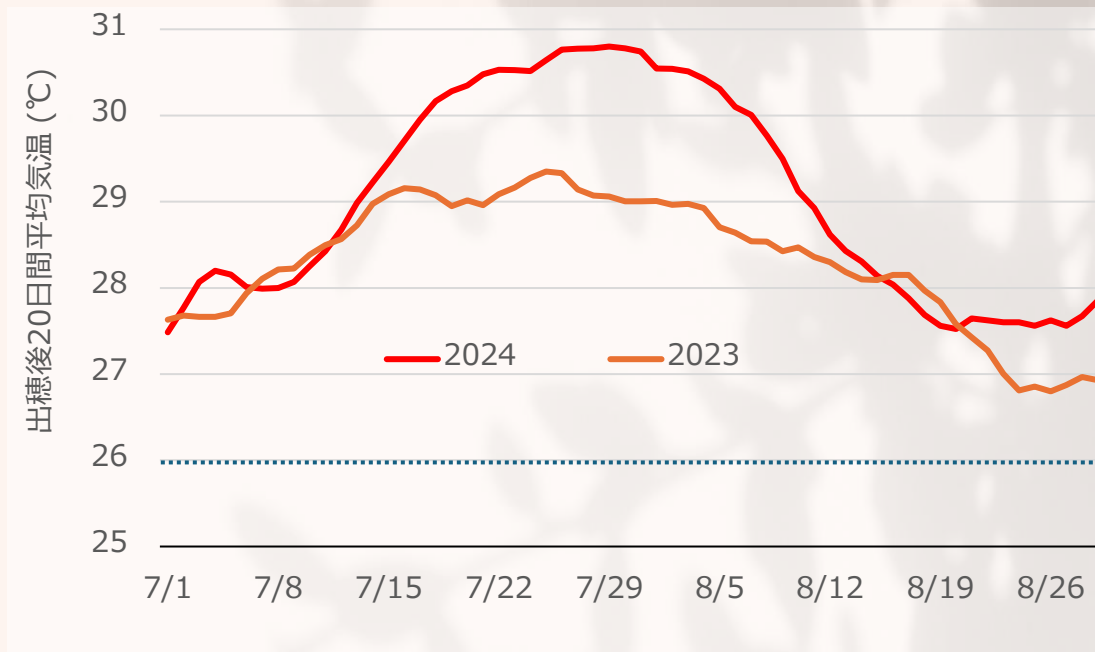


愛知県の高温耐性水稻品種育成に関する研究

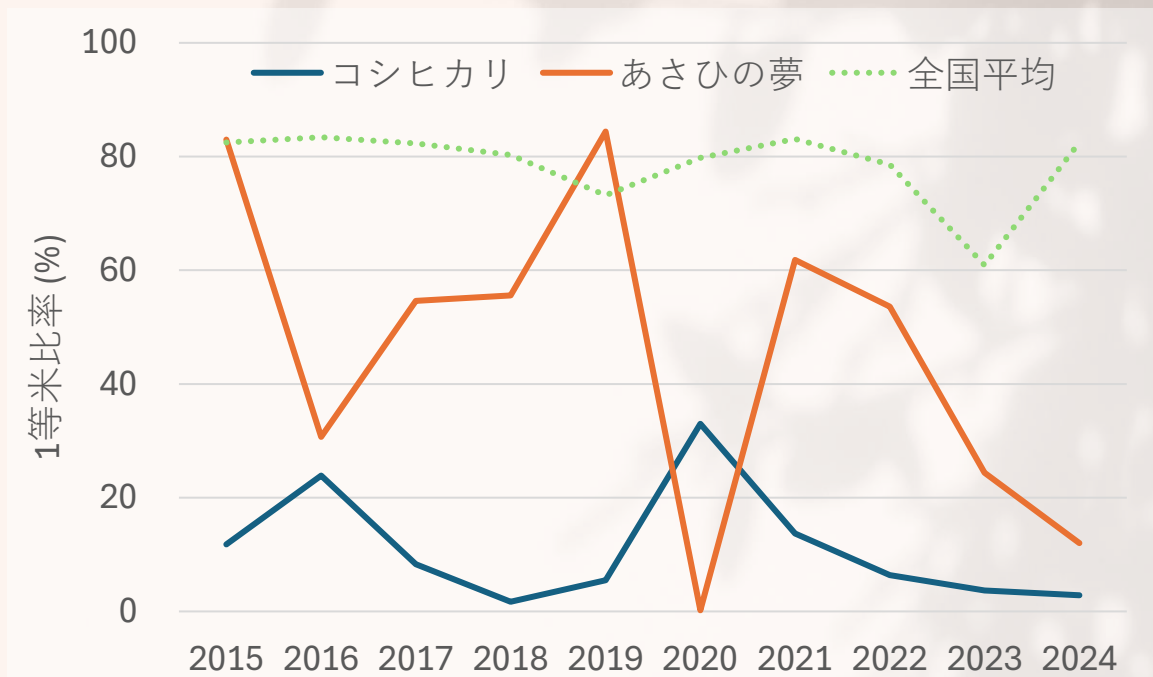
愛知県農業総合試験場
作物研究部
杉浦 和彦

背景

気温



1 等米比率



高温障害対策 －栽培－

- 県内の現地ほ場 延べ68ほ場を調査
- 窒素供給量（施肥窒素量＋土壌窒素発現量）と基部未熟粒との間に有意な負の相関
- 調査したほ場の施肥窒素量は、本県の施肥基準よりも少ないほ場が多い

品質向上には適切な量の窒素施肥が必要

- 白未熟粒抑制に、穂肥増肥が効果あり
- 本県では省力化から全量基肥肥料が広く普及
- 高温障害に有効な全量基肥肥料を検討

生育後半の肥効を高めた全量基肥肥料が有効

高温障害対策 －育種－

「コシヒカリ」熟期の品種開発

多くの遺伝資源の中から高温耐性を有する水稻系統「TS-3」を見出す
(船生ら2006)

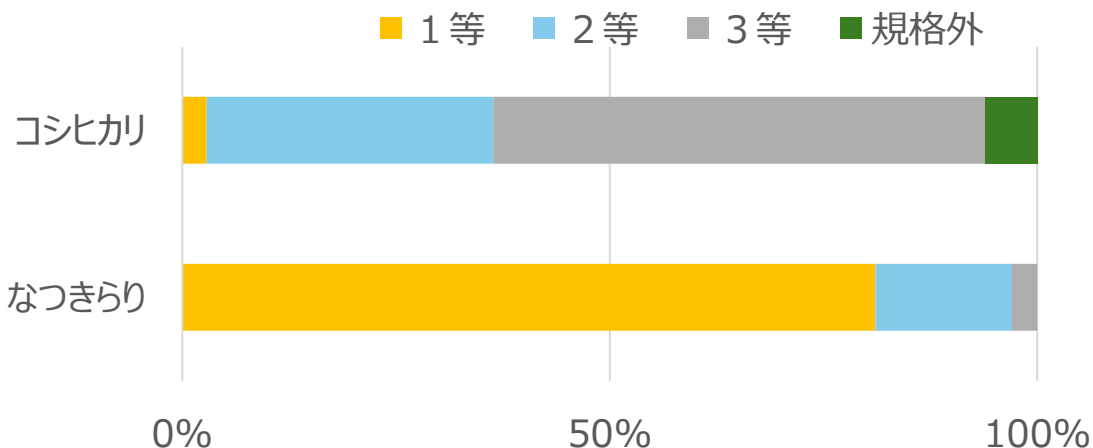
コシヒカリ

TS-3
【高温登熟耐性】

なつきらり

2017年に
品種登録

2024年産 農産物検査結果



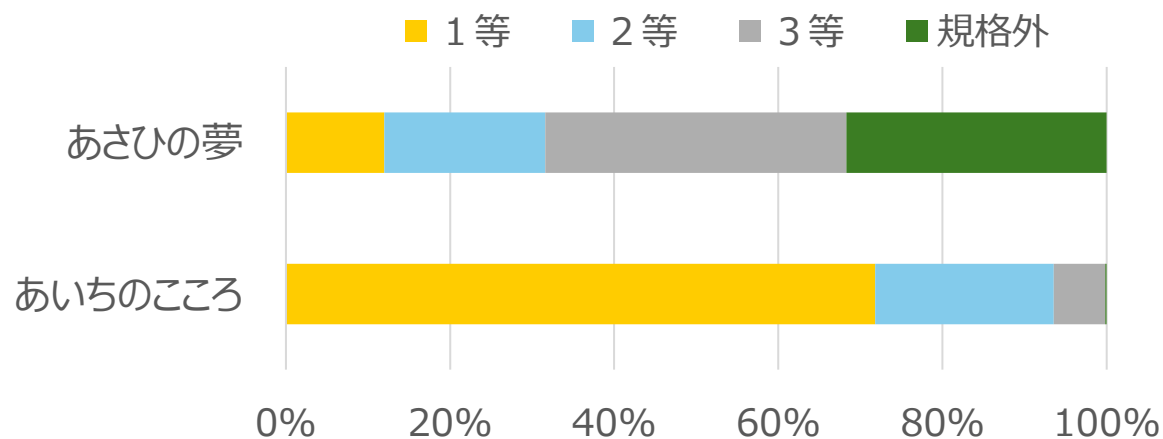
高温障害対策 －育種－

「あさひの夢」熟期の品種開発



「あいちのこころ」について

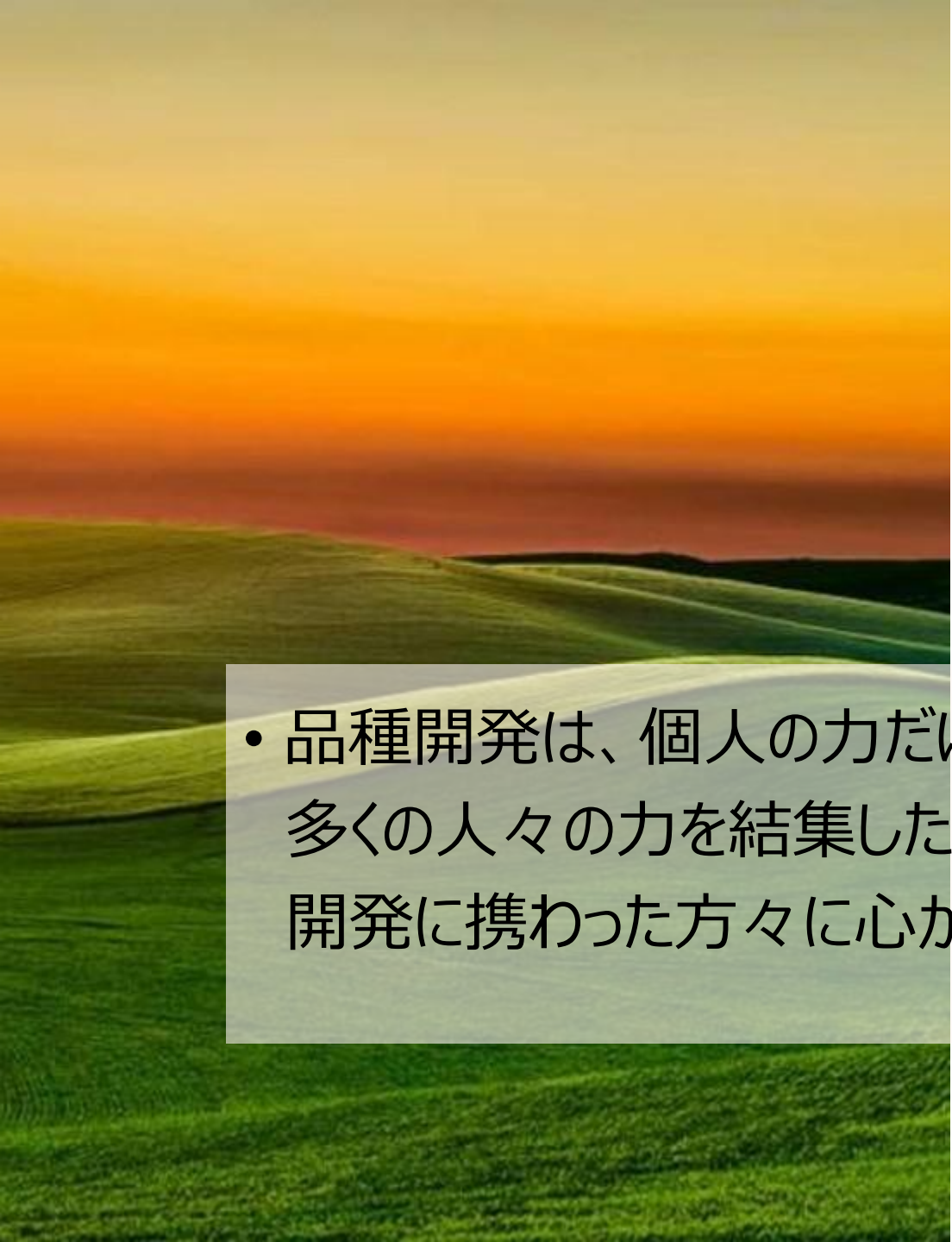
2024年産 農産物検査結果



作付計画

品種名	2025年	2026年	2027年	2028年
あいちのこころ	1,000	1,500	2,000	2,500

(ha)

- 
- 品種開発は、個人の力だけではできません。
多くの人々の力を結集した結果です。
開発に携わった方々に心から感謝申し上げます。